



こんにちは
日本共産党

市会議員

西野さち子です

くらしの目線で市政を変える

桃山・醍醐でみなさんの願い実現に全力!! 西野さち子の活動日誌

2016年 平和のための伏見戦争展に参加しました

龍谷大学で「2016年の平和のための伏見戦争展」が行われ、西野さち子市議が参加しました。最初に映画「沖縄の少女たち」の上映が行われました。そのご元沖縄タイムス記者でフリージャーナリストの屋良朝博さんの「安全保障と沖縄」と題して講演がありました。

「危険性の除去」辺野古埋め立てを正当化するとき政府が繰り返すフレーズです。住宅が多い普天間周辺で

航空機が墜落したら犠牲者は多く、辺野古なら人口が少ないので事故があっても犠牲者は少ないということ。米国では人家の上のオスプレイ飛行はあり得ません」と話されました。

年間3700億円もの「思いやり予算」を差し出す上に新たな基地建設は許せません。



高すぎるゴミ袋代は値下げを!!

黒字分のムダづかいをやめよ!!



9月15日：共産党議員団のもとに
思いのこもった署名がとどけられました

高すぎる有料指定ごみ袋代の値下げを求める請願署名752筆が醍醐地域や嵯峨野地域の皆さんから市会に届けられました。市会のすべての会派に紹介議員をお願いされたそうですが、日本共産党以外の皆さんは断られました。

ゴミ袋の収益2億5千万円で南部クリーンセンターに展望台をつくる計画ですが、こんなむだ使いは許せません。年間10億円の黒字があり、値下げは可能です。請願趣旨は納得できると赤阪、山根、西野さち子の伏見区選出の議員は揃って紹介議員になりました。

党議団 共産市 「民泊」問題の見解を発表

日本共産党市会議員団「民泊」は規制緩和でなく、市民の安全・安心に向けたルールづくりを」の見解を出しました。急増する外国人観光客に対応するため、違法な「民泊」や許可された簡易宿所が増えています。その周辺では深夜にキャリーバッグを引く音や大声で話す声など、住民生活に被害が広がっています。

国は新法を作って規制緩和をしようとしています。京都市では規制緩和でなく、規制強化をする必要があります。醍醐地域にも被害が出ていますから、早急に問題解決への対応が京都市に求められています。



市政報告 西野さち子市議の主な質問

防災問題 9月28日の豪雨で伏見区に土砂災害避難指示が出ました。しかし指示が出たときはすでに大雨が降っていましたから、避難すれば危険な状況でした。「2時間前には状況がつかめていた。もっと早く対応すべきだった。避難場所の方が危険なところもある。判断しやすい情報提供をすべき」と質しました。

公契約条例 京都市の公契約基本条例には賃金規定がありません。他都市では「官製ワーキングプアを作らない」「賃金が保証されれば地域経済の活性化になる」と踏み出しておられますから、「京都市も公契約基本条例に賃金条項を入れるべき」と求めました。